

(様式3)

## 公共事業再評価調査

番 号	道路-2	事業担当局課	南区 南土木事務所	
事業名	市道上大岡第149・168号線道路改良事業		採択年度	H20
施工場所	南区大岡三丁目9番地先から大岡五丁目39番地先まで		経過年数	10年
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>本路線は、主要地方道横浜鎌倉の向田橋交差点より、磯子区岡村五丁目へ向かうバス路線となっており、都市計画道路汐見台平戸線の一部となっています。現況幅員が7.0m～7.5mと狭く、バスの通行に支障をきたしているほか、通学路にも指定されていますが、歩道が整備されていないため、歩行者の安全性も損なわれている状況です。このため、車道を拡幅整備し、歩道を設置することで、利用者の安全性と利便性の向上を図るものです。</p> <p>また、「横浜市地震防災戦略」では、都市計画道路汐見台平戸線を延焼遮断帯として位置付けています。</p> <p>事業概要</p> <p>市道上大岡第149・168号線</p> <p>延長：250m、幅員：15m(車道9m 歩道3m×2)、車線数：2 用地面積1,908m<sup>2</sup></p>			
			当初(事業採択時)	変更(平成25年度)
	事業期間		平成20年度～平成25年度	平成20年度～平成32年度
	事業費	合計	1,074百万円	1,103百万円
		国費	—	757百万円
		市費	1,074百万円	346百万円
	変更内容	交差点部の視距確保のため、隅切りの形状を変更するとともに、補償額を精査し、事業費を変更しました。		
	上位計画等	横浜市中期4か年計画(2018～2021)の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の施策2で「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」を掲げ、政策34「災害に強い都市づくり」の施策3で「延焼遮断帯の形成などにより、地震火災に強い都市づくりを進めます」としています。本事業では、歩道整備により歩行者の安全性を向上させ、また、車道の拡幅整備を行うことで、交通混雑を緩和し、加えて、延焼遮断帯の形成を図ります。		
	関連事業	本事業と同一の都市計画道路汐見台平戸線では、市道平戸第486号線(別所地区)、(別所地区(その2))、汐見台平戸線(大岡地区)、市道蒔田第480号線にて同様の拡幅事業を進めています。		

事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>都市計画道路汐見台平戸線は、本事業区間以外でも他事業により拡幅整備を進めており、既に拡幅が完了している部分もあります。</p> <p>また、本路線は「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」において、地震火災対策重点路線に位置付けており、「横浜市地震防災戦略」では、当該重点路線を延焼遮断帯として整備を推進しています。</p> <p>加えて、スクールゾーン協議会からも歩道の整備を強く望まれています。</p>		
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4% (2%)	
		総便益(B)	19.4 億円 ( 29.8 億円)	—
		総費用(C)	10.4 億円 ( 9.6 億円)	—
		費用便益比 (B/C)	1.9 ( 3.1)	—
		感度分析 [交通量-10%]	1.0 ( 1.6)	—
		<p>[定性的効果]</p> <p>本事業区間は歩道が整備されていないため、歩道を整備することで歩行者の安全性が向上します。また、車道の拡幅整備を行うことで、交通混雑の緩和が図れ、バスの定時性向上に寄与します。加えて、延焼遮断帯としての役割も期待されます。</p> <p>[その他特記事項]</p>		

事業の 進ちょく 状 況	事業進ちょく率%	<p>平成 29 年度末までの用地取得率は約 29%、事業進捗率は約 31%となっています。</p> <p>用地取得が完了している部分については、歩行者の安全を確保するため、暫定的な歩道整備を行っています。</p> <p>引き続き、用地取得を進めるとともに、取得が完了次第、工事に着手します。</p>
	31%	
	用地取得率%	
	29%	
	供用等の状況	
	—	
事業の課題 及び進ちょく 見 込 み	<p>用地取得には移転先の確保や建築工事が必要となるため、地権者の理解が得られず、多くの時間を要していましたが、用地取得の進ちょくとともに残地権者の事業に対する理解も進み、今年度は3件の契約と2件の価格提示を行っています。また、用地取得に向け、3件の測量作業に入ります。</p> <p>既取得部分における歩道の暫定整備により、地元の事業効果についての理解も進んでいることから事業の進捗が図れるものと考えています。</p>	
そ の 他 (コスト縮減項目等)	<p>設計の際にコストを意識した施工方法の検討を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど、可能な限りコスト縮減に努めます。</p>	

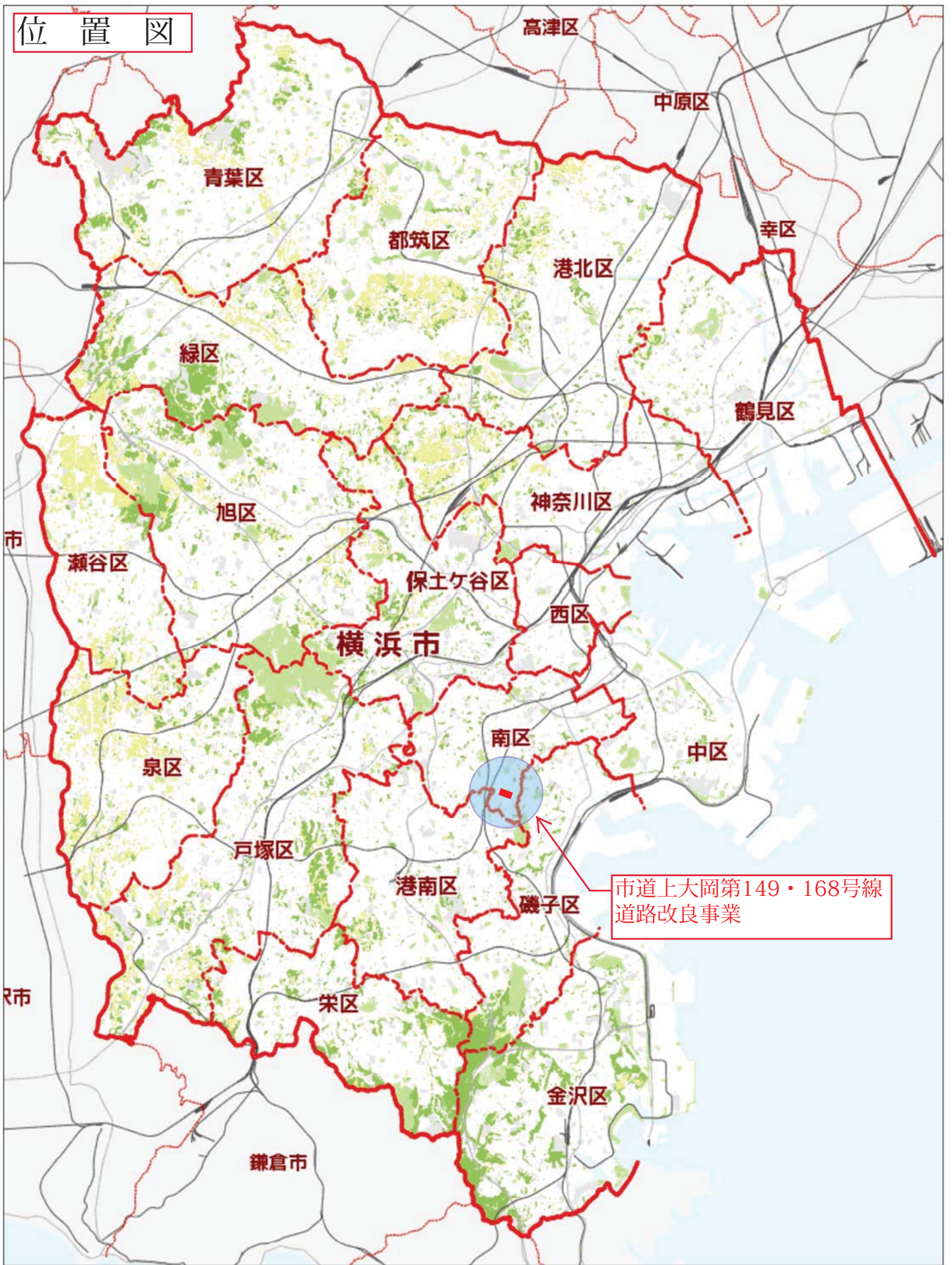
その他	—	
添付資料	有 ・ 無	
対応方針 (案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1
		一部見直し(上記計画を変更)※2
	【見直し内容】	
中 止		

対応方針 (案) として 理由	<p>本路線は、都市計画で位置付けられていることから、本市における広域的な交通ネットワークの一部を担う路線であるとともに、延焼遮断帯として火災に強い都市空間の形成にも寄与する路線となっております。</p> <p>また、本事業区間と同一路線の隣接区間約300mは既に拡幅整備が完了していますが、本事業区間はバス路線にもかかわらず、車道幅員が狭いため、車両の円滑な通行に支障をきたしているとともに、歩道も整備されていないため、歩行者の安全性も損なわれている状況です。</p> <p>本事業の整備により、車道の拡幅と歩道整備を行うことで、交通の円滑化、バス運行の定時性向上、歩行者の安全の確保が図れるものと考えており、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
-----------------------	---

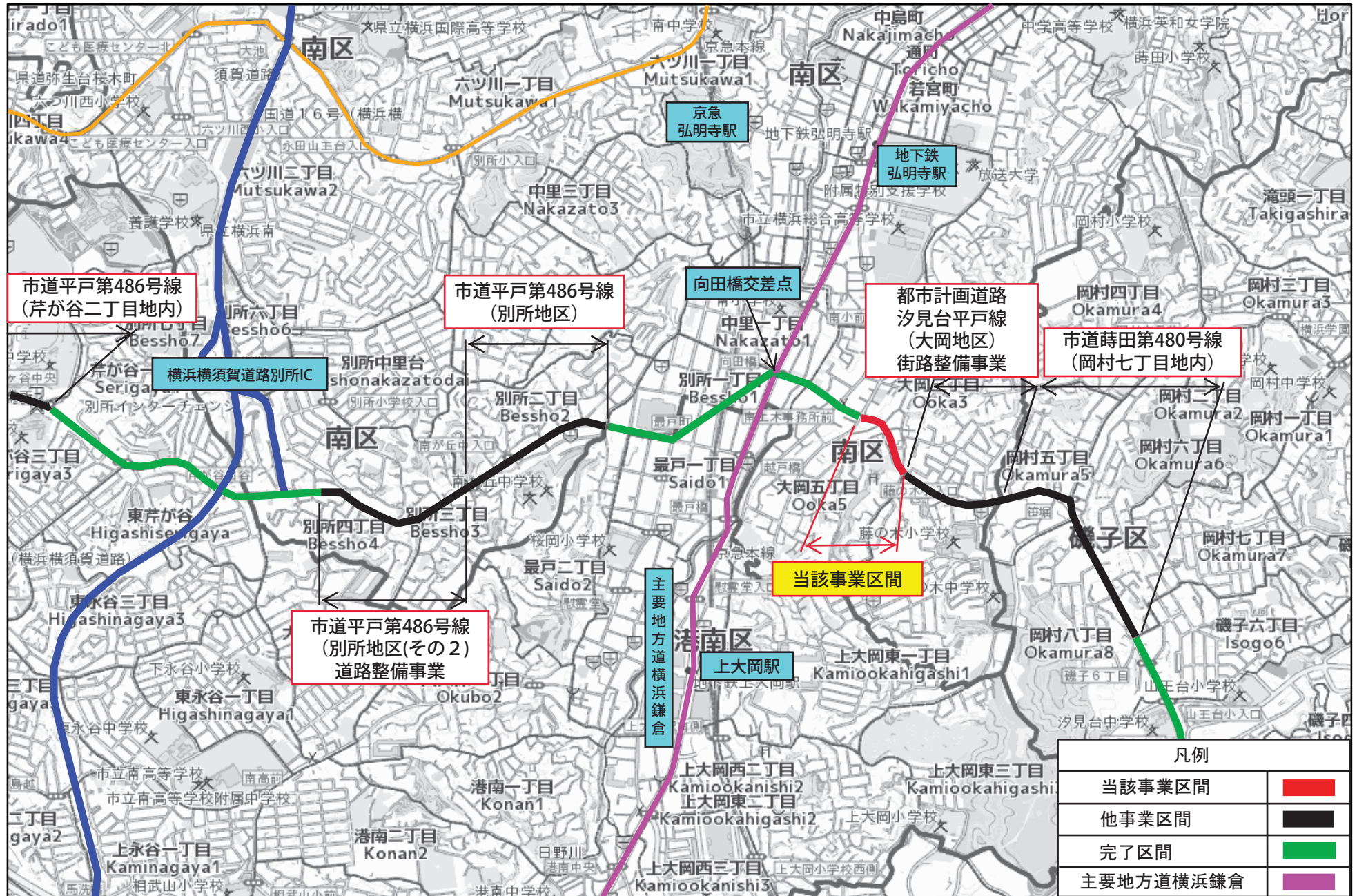
※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

# 位置図

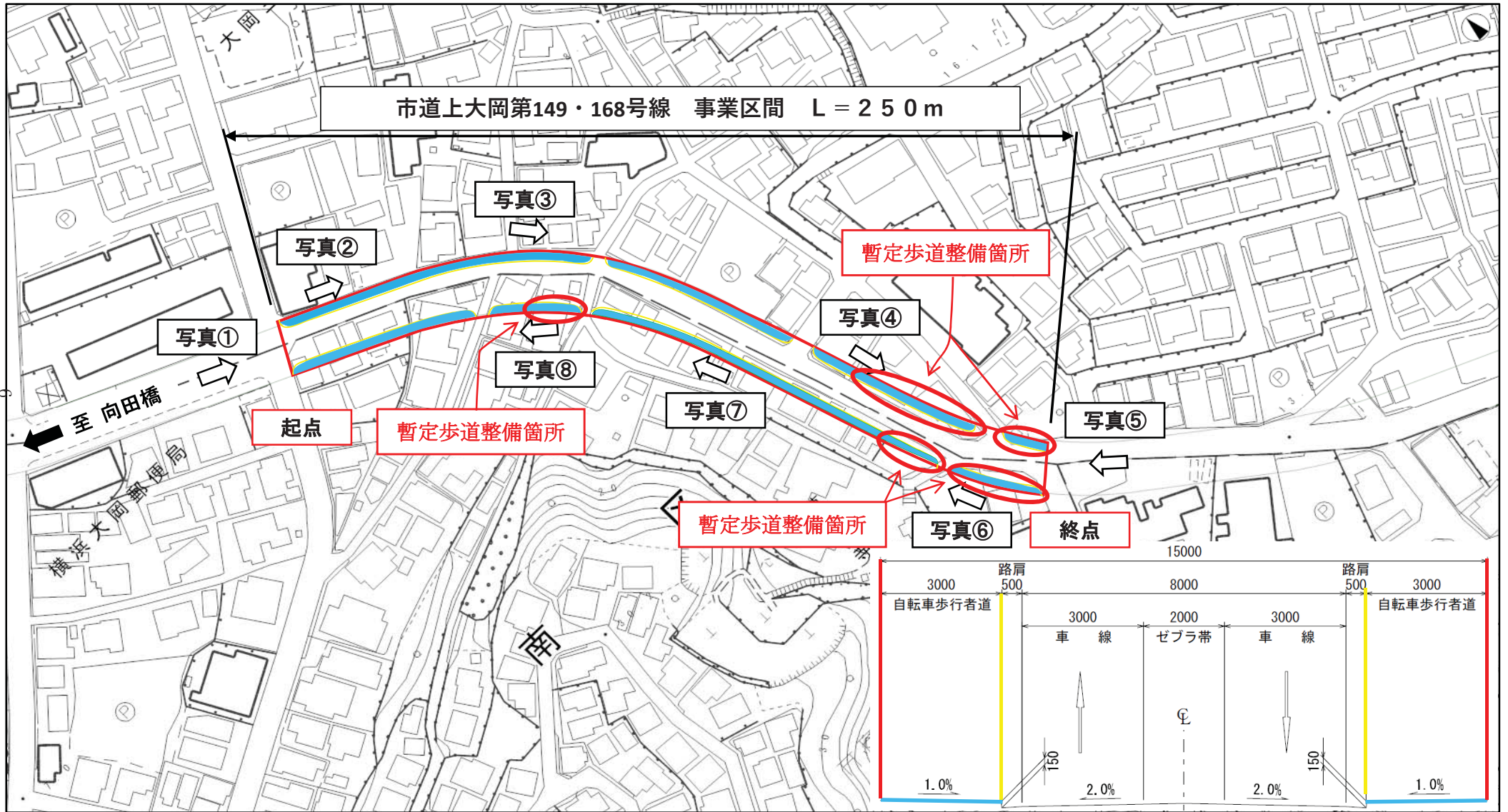


# 市道上大岡第149・168号線



凡例	
当該事業区間	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>
他事業区間	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:black;"></span>
完了区間	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:green;"></span>
主要地方道横浜鎌倉	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:purple;"></span>

# 市道上大岡第149・168号線道路改良事業



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真①



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真②



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真③



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真④





市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真⑤



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真⑥



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真⑦



市道上大岡第149・168号線道路改良事業 写真⑧



前回再評価内容との比較

	前回（H25）	今回（H30）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>本路線は、都市計画決定されており、地震防災戦略において延焼遮断帯としても位置付けています。また、各地区において関連事業による拡幅整備が進められています。</p> <p>スクールゾーン協議会からは歩道の整備を強く望まれています。</p>	<p>当該区間は通学路となっておりますが、歩道が整備されておらず、歩行者の安全性の確保に課題があり、スクールゾーン協議会からも歩道の整備を引き続き要望されています。</p>	<p>本路線での用地取得率は29%です。用地取得部分については、平成26年度に交差点の一部を拡幅整備を行うとともに、歩行者の安全を確保するため、歩道の暫定整備を行っています。</p>
事業進捗率	8%（9%）	31%	+23%
用地取得率	4%（4%）	29%	+25%
供用等の状況	—	— （既取得部分における歩道の暫定整備）	—
事業の進捗見込	<p>境界確定等に時間を要していましたが、平成24年度に2件の用地取得を行いました、平成25年度も1件の用地取得を行いました。</p> <p>平成26年度には交差点の一部を拡幅整備する予定です。</p>	<p>用地取得には移転先の確保や建築工事が必要となるため、地権者の理解が得られず、多くの時間を要していましたが、用地取得の進ちょくとともに残地権者の事業に対する理解も進み、今年度は3件の契約と2件の価格提示を行っております。また、用地取得に向け、3件の測量作業に入ります。</p>	<p>用地取得率は前回と比べ25%進んでおり、着実に事業進捗が図られているものと考えています。</p> <p>また、既取得部分における歩道の暫定整備により、地元の事業効果についての理解も進んでいることから今後の事業進捗も図れるものと考えています。</p>

二

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。

# 事業進捗状況

## 市道上大岡第149・168号線

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H20	4	0	4	0.3%	0.0%	0.3%	0	0	0.0%
H21	3	0	3	0.6%	0.0%	0.6%	0	0	0.0%
H22	5	0	5	1.1%	0.0%	1.1%	0	0	0.0%
H23	3	0	3	1.4%	0.0%	1.4%	0	0	0.0%
H24	77	76	1	8.3%	6.9%	1.5%	75	75	3.9%
H25	27	24	3	10.8%	9.1%	1.7%	52	127	6.7%
H26	17	14	2	12.3%	10.4%	1.9%	58	185	9.7%
H27	8	3	4	13.0%	10.7%	2.3%	0	185	9.7%
H28	85	79	6	20.7%	17.8%	2.8%	151	336	17.6%
H29	118	104	13	31.4%	27.3%	4.1%	222	558	29.2%
合計	346	301	45				558		

- ※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
- ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
- ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

## 事業進捗状況 市道上大岡第149・168号線

